

言語活動

目的・場面 ・状況を明 確に!

「知識・技能」 する態度」も育成される

実際に英語を用いて互いの考えや気 持ちを伝え合う活動を意味し、言語 材料について理解したり練習したり するための活動とは区別されている。

話すこと(やり取り)

ア 基本的な表現を用いて<u>指示、依頼</u>をしたり、 それらに応じたりすることができるようにする。

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄につ いて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句 や基本的な表現を用いて伝え合うことができる ようにする。

ウ 自分や相手のこと及び身の回りに関する事 柄について、簡単な語句や基本的な表現を用 いてその場で質問したりして、伝えあうことがで きる。

Small Talk

高学年の新教材で設定されている活動である。 2時間に1回程度、帯活動である。

あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞 いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合っ たりすることである。また、5年生は指導者の話 を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うこ とを中心に行う。

児童どうしがやり取りを行うためにはそれなりの 言葉を使う練習を意識的に行う必要がある。

日的

3

5

既習表現を繰り返し使用できるようにして、そ の定着を図る

1.対話の続け方を指導する

対話の開始 Hello How are you?

繰り返し (I went to Tokyo.) You went to Tokyo. 一言感想 That's good. That's nice. Really?

That sounds good.

確かめ Pardon? Once more, please. さらに質問 (I like fruits.) What fruits do you like?

対話の終了 Nice talking to you. /You, too.

(『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』 p. 84)

話すこと【発表】

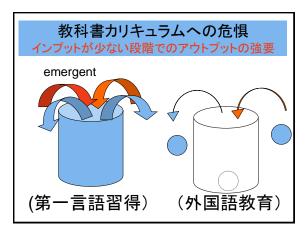
ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことがで きるようにする。

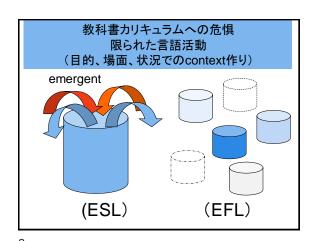
イ 自分のことについて伝えようとする内容を整理し た上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこ とができるようにする。

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内 容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡 単な語句や表現を用いて話すことができるようにす る。

6

1





ことばは人を通じて 意味のある文脈の中から ゆっくり育っていく (ソビエト時代の心理学者、ビゴッキー)

意味のある文脈 (meanigful context)に おいてのみ言語習 得は可能である。

9 10